

分野： (2) COPDに関する調査研究  
② 喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価

(2)-②

申請課題名：喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価

調査研究代表者氏名：相良博典

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.33
(3) 研究計画の妥当性	0人	3人	3人	0人	0人	3.50
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.42
(6) 総合評価(第2評価)	0人	2人	4人	0人	0人	3.33
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.39

## 2 記述評価

- ・人参養栄湯が効果があるとした場合、なぜ、この薬に的を絞ったのか、客観的説明をしてもらいたい。
- ・加熱式たばこ周辺環境に及ぼす影響を文献的考察を加えてほしい。

・全体としてはテーマに沿ったまとまった内容で研究が進行しているという印象である。人参養栄湯の研究は、選択されている漢方薬に、理論的に説明可能で興味深い効果があることを示唆している。本薬剤の研究対象であるCOPD患者の重症度分布、フレイルの客観的な評価、及び治療によりサルコペニアについて客観的な評価により改善が得られているかを検討していただきたいと思う。また加熱式たばこの上皮細胞への作用に関して影響を受けるサイトカインにIL-6とIL-8が選択されているが、炎症やバリア機能、増殖機能に関する直接的な観察所見やその他の液性因子についても、まだ検討されていなくても考察しておいてほしい。

・「喫煙及び受動喫煙のCOPD等における健康被害の評価」という調査研究課題は達成するのに多くの困難があることは理解できるが、本年度の発表内容はこの課題に即した結果が十分ではない。

・COPDとフレイル、サルコペニアのスクリーニング、COPDフレイルへの治療介入、加熱式たばこ煙の気道上皮細胞への悪い影響、の3つの研究は、それぞれそれなりの成果が得られている。

・今回の研究の成果を社会へどのような形や方法で還元するかの計画はどうか。

・これからは受動喫煙に関する研究の推進も望まれる。

・当初多くの研究目的があげられていたので、COVID-19の流行状況も踏まえて、最終年度に向けて達成可能な研究内容について進めるべきではないか。

・加熱式たばこの実験では、抽出液の作成方法・曝露条件などの実験条件をより明確に示すべきと考える。